

金山中ソフトテニス部 初の快挙！

柴田^{めい}明・谷口^{まゆ}舞優ペアが全中へ

金山中学校ソフトテニス部が新たな歴史を切り開いた——。

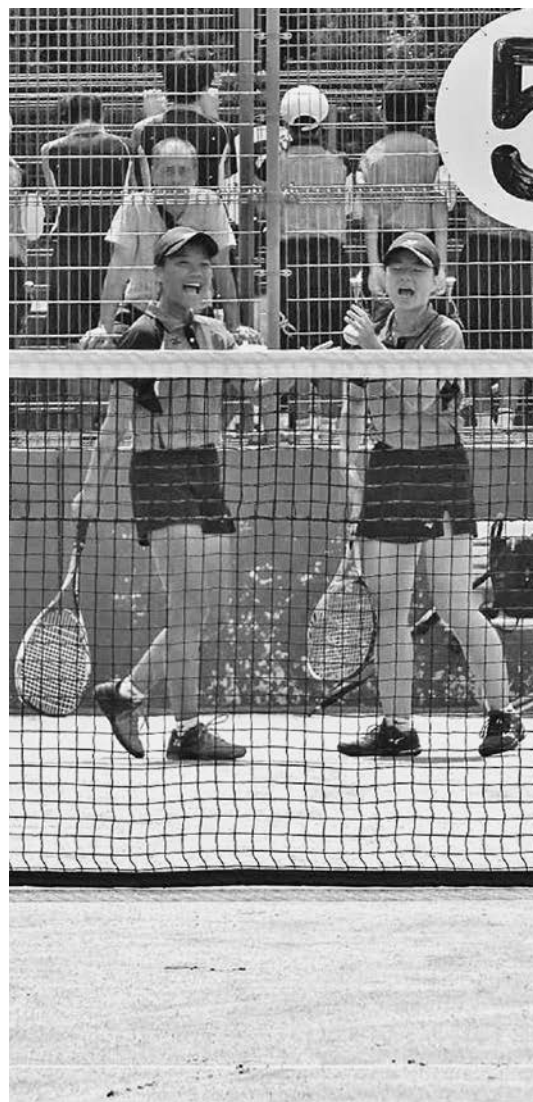
吉報が届いたのは全国的な猛暑が続いていた8月9日。第47回東北中学校ソフトテニス大会において、金山中学校ソフトテニス部の柴田^{めい}明・谷口^{まゆ}舞優ペアが見事準優勝を果たし、全国中学校ソフトテニス大会の切符を手に入れました。部として初の快挙に、大いに沸きました。

10歳からともにプレーしている柴田さんと谷口さんは、小学生の頃から全国大会に出場するなど、以前から注目のペア。広報かねやまでもふたりの活躍を度々紹介させていただきました。中学校入学後も、先輩に負けじと1年生から試合に出場。今年も地区中総体優勝を皮切りに、次々と駒を進め、自身ら初となる『全中』への出場を決めました。

順風満帆に見えた柴田・谷口ペアも、見えない壁に苦しみ、もがいていた時期があるそう。柴田さんは「全国を決める東北大会の朝、プレ

ッシャーでラケットが振れず、完全に自信を失っていた」と振り返ります。その時に背中を押したのが「テニスを楽しめ」というコーチの言葉。勇気をもらい頑張れたと続けます。「全中までいったのは、顧問の先生はもちろん、コーチの方々や保護者の皆さんのおかげ」だと谷口さんは話し、この経験は宝物だと頬を緩めます。ふたりの持ち味は前向きさだと話す顧問の仁藤^{かずひろ}和弘先生は「コート後方から力強い打球を打ち込んでチャンスをつくる明^{めい}さん。ネット付近でボレー・スマッシュを決めて流れを引き寄せる舞優^{まゆ}さん。ふたりは入部当初から同級生や上級生も巻き込んで、行動力を発揮し、部を一層明るくしてくれました」とふたりを讃えていました。

「たくさん応援される選手になってほしい。そのためには笑顔で上を向いて」。ふたりらしい言葉を後輩に残し、金山中ソフトテニス部史上女子最強ペアが引退しました。



㊤ 8月20～22日に京都府で開催された第50回全国中学校ソフトテニス大会。ポイントを決め、思わずガッツポーズする柴田(左)・谷口(右)ペア ㊦ 同大会1勝で臨んだ2回戦で健闘するペア。敗れはしたが、大舞台での経験は大きな財産となった

